

地域と学校の連携を深める
「只見町地域学校協働本部協議会」開催



▲地域と学校が協働でできることについて検討を進めます

「第1回只見町地域学校協働本部協議会」が6月1日に開催され、「地域学校協働本部」についての説明や各学校の運営協議会からの報告が行われました。

「地域学校協働本部」は、地域と学校が一体となり、地域ぐるみで子ども達の成長を支え、学校が地域に貢献する学びを実現するための体制づくりを進め、持続可能な社会の創り手を育てるための教育の実現を目的としています。

今後はグループワークなどを通して地域と学校の連携について検討を進めます。

山村教育留学の良さをPR
「地域みらい留学フェスタ」開催



▲オンライン形式で、只見町や只見高校で3年間を過ごすことの魅力をPRしました。

「2022地域みらい留学フェスタ」が6月4日、5日に開催され、只見高校に通う4人の寮生や只見高校の佐藤教頭先生、只見町教育委員会が参加し、只見高校の山村留学学生募集のために「山村教育留学制度」や「総合的な探究の時間」の説明などを行いました。

「地域みらい留学」とは、只見町の山村留学生のように都道府県の枠を越えて他地域の学校に入学し、充実した高校生活を送る取り組みです。今までの環境とは違う環境に触れられ、留学先の地域の人々との交流などを通して、人格形成や価値観の多様性を育むことなどが期待されています。

安心・安全の只見産米を届けたい
「只見米ブランド協議会」「東北農政局長賞」受賞



▲賞状を受取った山内会長(右から2人目)、協議会メンバーの有限会社さんべ農園(左から2人目)と合同会社ねっか(右)

只見米ブランド協議会が、農林水産省の「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」のGAP部門で「東北農政局長賞」を受賞し、渡邊伸一南会津農林事務所長から賞状の伝達が行われました。

同協議会は、参加メンバー全員がJGAP認証を取得し水稲生産を行っているため、今回の受賞では、生産工程管理の改善やGAP講習会の開催などが評価されました。

山内征久会長は「関係者の支援に感謝いたします。安心・安全な只見産米を地域内外へ届けていきたい」と話しました。

国道289号開通後を見据えて
「越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会」「同円卓会議」開催



▲5月26日に行われた、円卓会議の様子(場所:南会津町役場)

「越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会」が5月25日、「同円卓会議」が5月26日に開かれました。

懇談会では、三条市、南会津町、只見町の各市町長のあいさつの後、山田桂一郎氏による講演「地域を巻き込んだ地域づくりと自治体の関わり方について」が行われ、コロナ禍の観光業界における取組み紹介や新型コロナウイルスの影響による今後の課題などについて講演しました。

円卓会議では、プレーヤーの方々から国道289号開通にむけて、取組んでいることの報告などが行われました。